

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)		平成30年度 第2回相模原市廃棄物減量等推進審議会				
事務局 (担当課)		資源循環部廃棄物政策課 電話042-769-8336(直通)				
開催日時		平成30年7月19日(木) 14時00分~16時00分				
開催場所		産業会館4階 中研修室				
出席者	委員	9人(別紙のとおり)				
	その他	- 人				
	事務局	18人(資源循環部長、廃棄物政策課長他16人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 開会 2 議題 (1) 家庭ごみの減量化、資源化について (2) 事業系ごみの減量化、資源化について 3 閉会				

## 審 議 経 過

主な内容は次のとおり。( 〇 は委員の発言、 △ は事務局の発言 )

### 1 開会

### 2 議題

事務局から次期基本計画の施策体系図(案)を示した上で、下記の議題に係る部分について説明を行った。

#### (1) 家庭ごみの減量化、資源化について

##### 【提案事項】

実施事業の標記の順番について整理する必要がある。リユース、リデュース、リサイクルとして最後に排出に関する事業とした方がわかりやすいのではないか。

基本計画の中身について、市ではリサイクル家具を300円等で提供しているが安すぎではないか。安過ぎるとまたごみにして出してしまうことや市が財政難なことを鑑みると少々高くしてもよいと思う。

市主催の若者向けワークショップに参加したが、その際もホームページやアプリ、フードシェアアプリなど、ITを活用しているといった意見が多く、ITを使った情報発信に力を入れて欲しい。

審議会からの意見では、「若者」や「外国人」「食品ロス」といったトピックスになるキーワードが出ているので4Rの各段階と合わせて整理し、計画の分かりやすさ念頭において整理すべき。また、この5～10年間で重点的やることを優先順位、濃淡をつけてわかりやすくまとめるべき。

市民や若者に理解を得るためには、「何のために」「何に重点を置いて」「何をすればよいのか」それを視覚的にわかりやすく、かつポイントを明確にして提示することが必要である。

#### (2) 事業系ごみの減量化、資源化について

##### 【提案事項】

紙類の裏面活用等をする場合には、個人情報取り扱いに注意すべき。  
また、事業者の所属内で年間何キロごみを出しているか等をアナウンスするなどによりごみに関する意識付けをすることが大切である。

実施事業の中で「情報提供」という項目があるが、情報提供に事業が集約しすぎており、情報提供にも様々なものがあるため、細分化すべきである。

市が自分で行う施策、事業者に協力いただく施策はきちんと前面に出していく必要がある。また、実施事業の中でも「市外廃棄物流入防止」の事業である事業系一般廃棄物マニフェストは、是非、実現してもらいたい。タイトルでは、市外廃棄物流入防止とあるがこの事業の目的は、市内の事業者が自ら廃棄物の流れを把握するというもので事業者の意識を変える意味でも導入の検討ではなく、期間内に導入することを目指していただきたい。

実施事業の内容について、市、事業者、市民（消費者）が行うことをが混在しているように思う。市が取り組むべきことなのか、事業者がやるべきことなのか、市民（消費者）がやるべきことなのか明確に表記すべきである。

搬入物検査の実施により、排出事業者が分別に協力してくれるようになっているので家庭系より事業系の方が分別に進んでいるのではないかと思う。家庭ごみが週2回収集になったことにより何か減量の努力をしているという話はあまり聞かないが買った場所やコンビニ等にごみを捨ててしまうケースが多いと聞くため、事業系ごみが増えているのはそういった要因もあるのではないか。

世界的企業のスターバックスがプラ製のストローを全て紙製に変えるといった取組を始めており、昔と比べるとごみの出し方も処理の仕方もずいぶんと変わってきているため、みんなで協力できるように啓発活動を行っていくべき。

### 3 報告事項

#### ・生活排水処理に関する事項

##### 【質疑事項】

高度処理型合併浄化槽の整備を進めていく地域は、最終的に下水道につながることを目指しているのか。

津久井地域では、下水道を整備する区域と下水道を整備せず、高度処理型合併浄化槽を整備する区域を明確に分けている。下水道を整備する区域は、比較的人口が多い地域としているが、整備が終わっていない箇所もある。一方で高度処理型合併浄化槽の整備を推進している地域は、家屋が点在している

状況となっている。

下水道だけでなく汚水処理計画全体を示していただきたいとお願いしているが変わらず下水の資料となっているため、次回の審議会では全体像を示していただきたい。

水質汚濁の原因の8割が山梨県側ということだが山梨県側の対応として費用負担をしてもらっているのか。

山梨県は、上流域で流域下水道や処理場を設置することにより対応している。

## 相模原市廃棄物減量等推進審議会委員名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	安西 優花	公募		出席
2	安藤 正義	相模原市老人クラブ連合会		欠席
3	池田 珠三子	さがみはら消費者の会		欠席
4	猪俣 聡	神奈川県立学校長会議 相模原地区会議		欠席
5	内山 尚美	さがみはらリサイクル連絡会		出席
6	王 文聡	公募		欠席
7	大河内 初雄	相模原商工会議		出席
8	大河内 由美子	麻布大学		出席
9	河本 博	相模原市廃棄物減量等代表推進員		欠席
10	菅野 泰男	相模原市子ども会育成連絡協議会		欠席
11	小清水 忠雄	相模原市農業協同組合		欠席
12	坂本 堯則	相模原市自治会連合会	会長	出席
13	成井 マユミ	特定非営利活動法人 男女共同参画さがみはら		欠席
14	原 正弘	神奈川県県央地区廃棄物処理業協議会		出席
15	藤倉 まなみ	桜美林大学	職務代理者	出席
16	不破 薫	相模原廃棄物対策協議会		出席
17	三須 城太郎	相模原地域連合		欠席
18	宮津 敏信	公募		出席
19	山口 弘一	津久井地域不法投棄防止協議会		欠席